

キリスト教文化研究所 2014 年度活動報告

運営委員会

2014年度は、4月24日、5月15日、6月12日、7月10日、11月6日、12月4日、1月15日、3月2日の計8回開催。主に、土曜自由大学（秋のコース）について、『年報』について、本研究所担当科目「人間論」・「キリスト教と文化」についてなどの話し合いが行われた。また、6月13日、14日にかけて長崎純心大学にて開催された日本カトリック大学キリスト教文化研究所協議会に竹田教授と井上専任講師が出席し、後日その報告がなされた。

土曜自由大学（秋のコース）

品川区との共催で、10月11日、25日の13:20～16:10、本学240教室において、各回2回の講演を開催した。今年度は「食」を総合テーマとして、各専門分野の講師陣よりそれぞれの視点からお話しいただいた。講師及び演題は、講演順に次の通り。本学英語英文学科齊藤悦子教授「「食べる」と「生きる」—アメリカ文学における比喩としての食—」、東北大学病院糖尿病代謝科近藤敬一助教「食事療法の科学的根拠」、本学人文科学研究so篠原厚子教授「「食」をめぐる話題—健康、安全から食文化まで—」、カトリック司祭・元上智大学神学部国井健宏教授「聖書と食事」。出席者は延べ211名。

合宿研修

3月1日（日）～2日（月）、湘南国際村 IPC 生産性国際交流センターにて実施。1日から2日にかけて、本学米谷郁子准教授による研究発表「17世紀英国の宗教詩を読む～花と夢」、本学足立加世子研究所職員による研究発表「島崎藤村『三人』における宗教性」が行われた。続いて、来年度の年間スケジュールについて話し合いが行われた。中でも、『年報』、土曜自由大学、「人間論」講演会について活発な意見交換がなされ、具体的な準備が進められた。参加者は8名。

執 筆 者 紹 介 (掲載順)

(2015年3月31日現在)

- | | |
|----------------|---------------------------------------|
| 阿部仲麻呂 | 日本カトリック神学会理事 |
| 貫井 一美 | 清泉女子大学非常勤講師 |
| 松本 隆 | アメリカ・カナダ大学連合日本研究センター教授
清泉女子大学非常勤講師 |
| 篠原 厚子 | 清泉女子大学教授 |
| フリアン・ゴンサレス＝バレラ | セビーリャ大学准教授 |
| 長野 太郎 | 清泉女子大学准教授 |